



小・中学校版

全国学力学習状況調査から

全国学力学習状況調査が実施され、結果が出されました。成績も大事ですが、児童生徒の生活習慣と学力との関わりを分析した集計にも注目し、保護者として子どもたちの学力を支えていくことや子育てに役立てていただくために情報提供いたします。どうか、どんなことをこれから取り組んでいったらよいのかを考えてみてください。

こんな子どもの正答率が高い。。。

【基本的な生活習慣について】

- ◇朝食を毎日食べる子。
- ◇毎日、同じぐらいの時刻に寝る子。



【家庭学習について】

- ◇家庭学習の時間が長い子。
- ◇自分で計画を立てて勉強する子。
- ◇学校の宿題、授業の予習・復習をする子。
- ◇読書好きの子。読書時間が長い子。図書館に行く頻度が多い子。



【家庭でのコミュニケーションなど】

- ◇家の人と学校での出来事について話をする子。
- ◇家の人に授業参観や学校行事に来てもらっている子。



【規範意識について】

- ◇学校のきまり・規則を守っている子。
- ◇人の気持ちが分かる人間になりたいと思う子。



【自尊感情について】

- ◇ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある子。

【社会に対する興味・関心について】

- ◇地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある子。
- ◇新聞を読んでいる子。



【メディアとの関係について】

- ◇電話・メール・インターネットをする時間が短い子。(携帯電話・スマートフォン)
- ◇テレビゲームをしている時間が短い子。

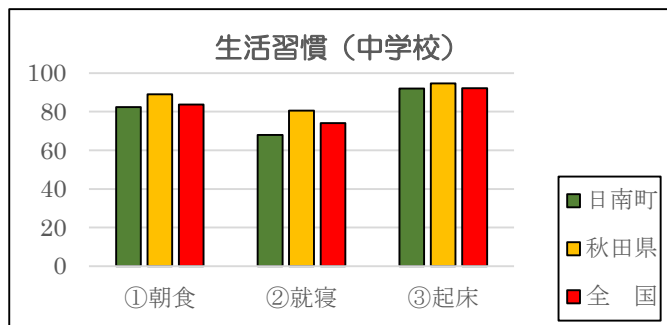
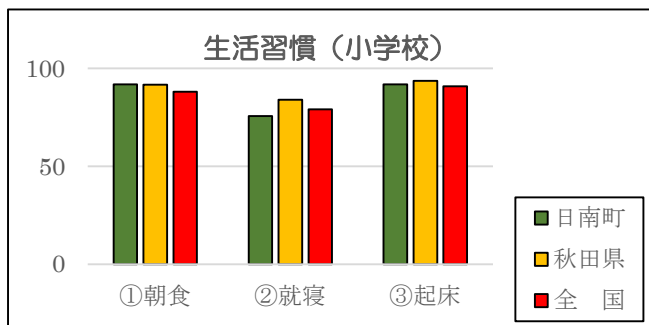
この4年間で見てきた「にちなんっ子」の特徴

～ 家庭生活を中心に～

平成23年度からの「児童・生徒の質問紙」の結果を全国トップクラスの教育県「秋田県」や「全国平均」の様子と比較しながら、「日南町の児童生徒」の様子をお知らせします。

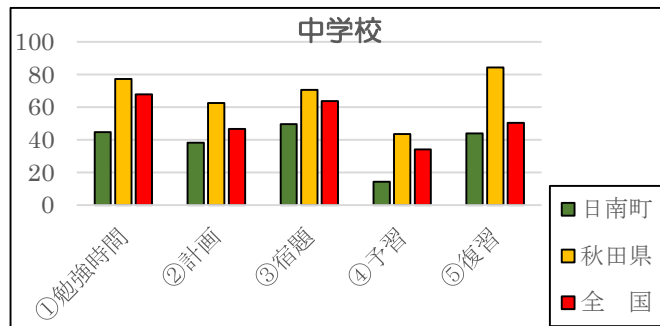
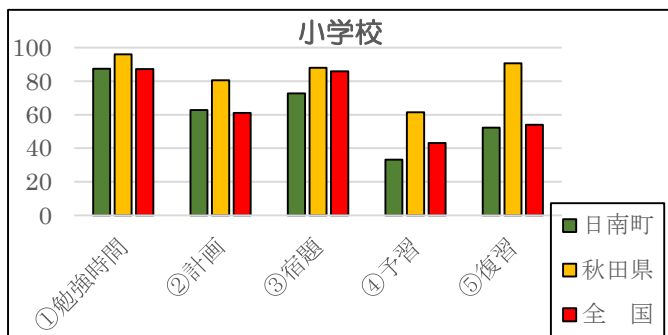
子どもたちの学力を支えている家庭での生活についてどんなことをこれから取り組んでいったらよいかを考えてみてください。（※日南町の数値は4年間の平均です。秋田県、全国は26年度の数値です。なお、棒グラフの左から「日南町」・「秋田県」・「全国」の順です。）

【基本的な生活習慣について】



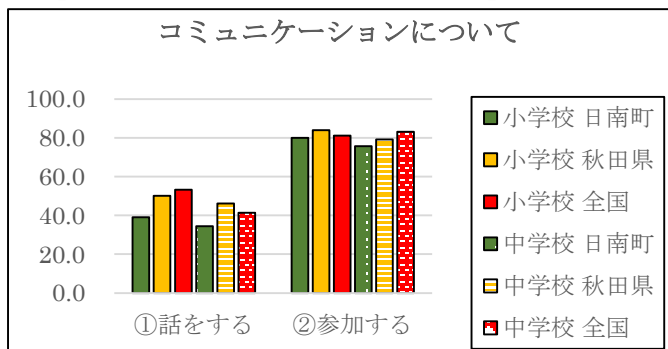
基本的な生活習慣のうち、①朝食、②就寝、③起床はあまり問題ありません。良い方向に向かっています。欲を言えば、就寝の時刻がきちんと守られる取り組みをしてください。

【家庭学習について】



本町の一番の課題である「家庭学習」では、「家庭学習がんばるウィーク」の取り組みが功を奏しているようで、①勉強時間・②学習計画・③宿題・⑤授業の復習は年々増加傾向にあります。しかし、全国に比べてまだまだ家庭学習が不足しています。予習まで行っていないのが現状です。宿題だけでなく、「自主学習」のやり方等を覚えて、勉強時間の充実に取り組んでほしいです。

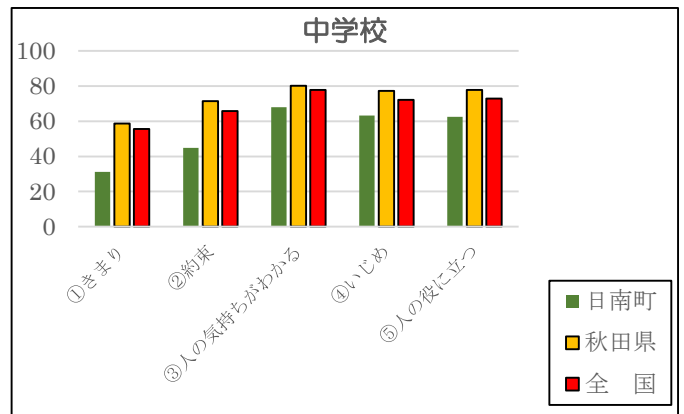
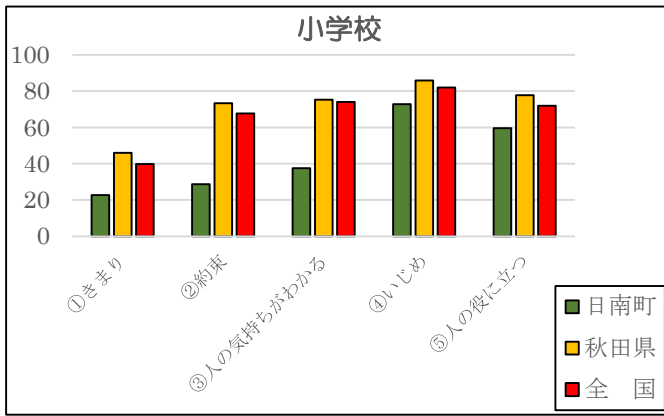
【家庭でのコミュニケーション】



家庭で積極的に親と会話するという子どもは全国に比べて少ないので、夕食時等に学校での様子などを話す機会をつくり、話に対して質問してやり、話す環境づくりに取り組んでください。

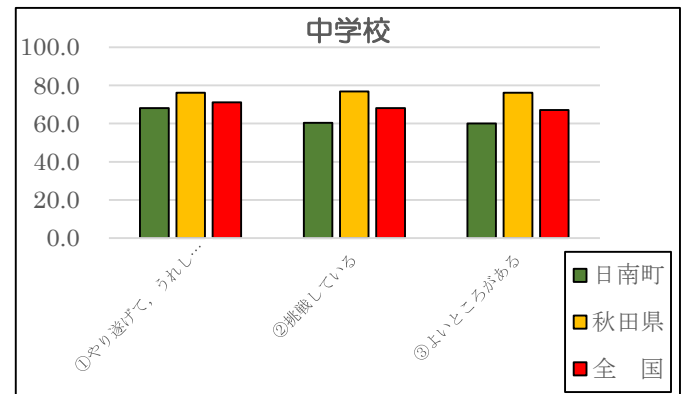
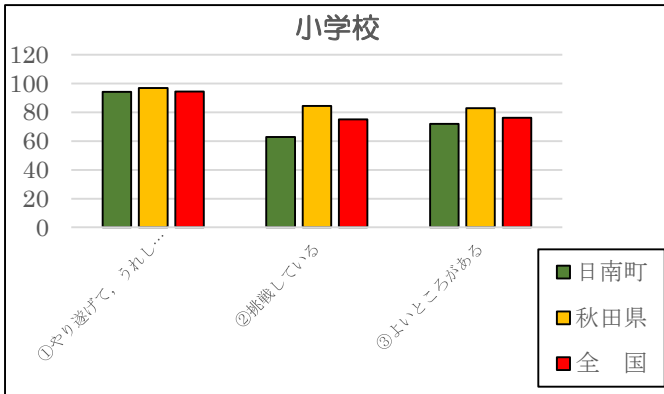
また、保護者の学校への行事参加は、全国と同じくらいであり、今後も積極的に参加していただき、子どもの様子を見て、帰宅後「ほめる」という親の姿が大切だと思います。

【規範意識について】



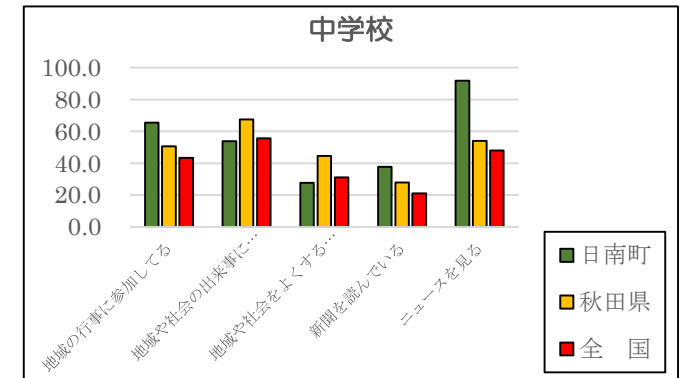
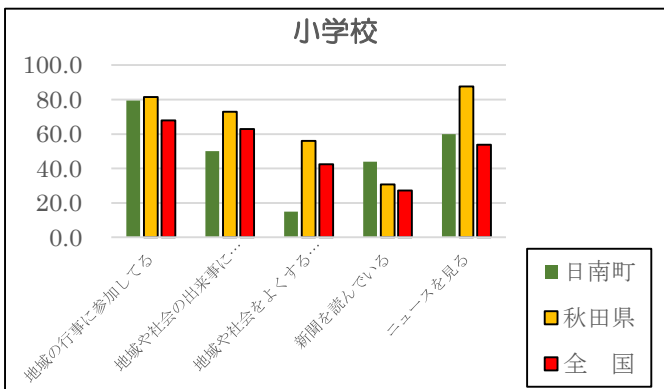
「規範意識」については大きな課題です。「共育いちい」のNo.7でも掲載しましたが、善悪の判断ができるよう、行動の内容や意義を教えて、できたらほめ、できなければさとし、何度も取り組ませて、自ら行動できるように育てることが基本となります。学校に任せるのではなく、家庭でもしっかり取り組む必要があります。

【自尊感情について】



「自尊感情」の項目でも改善の方向に進んでいます。小中学校で共同した『自己効力』をあげる取り組みなどが成果として表れてきているものと思われます。しかし、「挑戦力」に課題があり、もっと子どもを信じ、失敗しても子ども自身でやり遂げられる環境づくりが大切だと考えます。

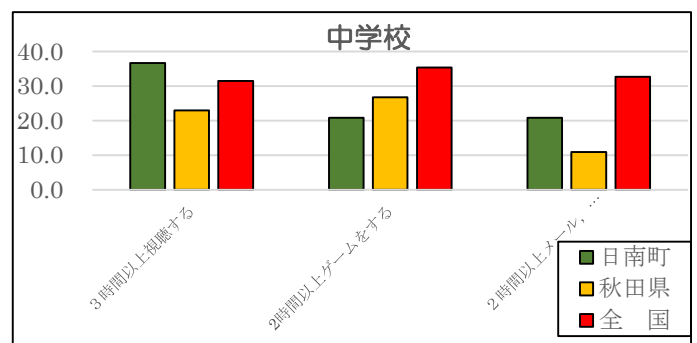
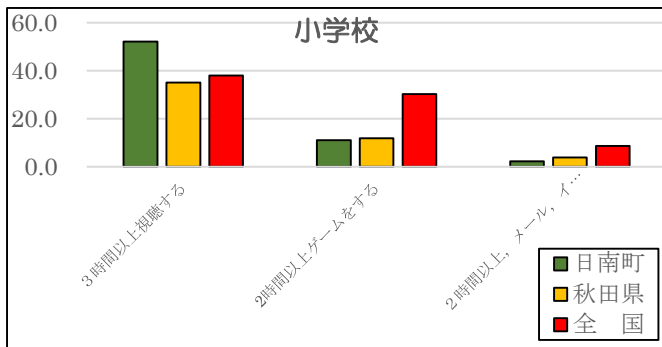
【社会に対する興味・関心について】



児童生徒とも地域行事に積極的に参加する姿は、全国を大きく上回っています。また、新聞・テレビ等でニュースを見る児童生徒の割合も高いです。しかし、地域に対する関心の薄さや地域をよくしようとする意欲に欠ける面があります。

特に、地域へのつながりを意識させる声掛けなどが必要だと思えます。

【メディアとの関係について】



テレビ視聴の長時間化は、年々減少傾向にあります。しかし、グラフのようにまだまだ3時間以上視聴している人が小学校で52.1%、中学校で36.7%いる状況です。長時間にならないよう家庭でのルールづくりが特に必要です

ゲームの時間は、逆に長時間傾向に向かっています。4年間の平均では、小学生で11.0%、中学生で20.8%が2時間以上行っている状況です。テレビ視聴と同じように家庭でのルールづくりで長時間にならない取り組みが重要となっています。

このように、長時間接触が特徴です。接触時間を減らし、その減らした時間を家庭学習に充てる取り組みを行うことが必要です。

また、携帯電話・スマートフォンが普及し、日南町でも所持率が17.8%と高くなっています。また、保護者等の機器を使用している児童生徒は、91.2%です。ほとんどの児童生徒が使用したことがあると答えおり、そのうえ、使用も日常化しており、長時間化が懸念されます。

携帯電話・スマートフォンについては、現在必要な状況にはないと思われます。便利な機器ではありますが、危険な一面を持っています。どうしても使わなければならない場合は、「ペアレンタルコントロール」（保護者が子どものインターネット等の利用を管理するため、閲覧制限などを行うこと）をしっかりと行っていかなければなりません。

現在、長時間利用しているお子さんについては、「ネット依存症」になる危険性が高いと思われます。そうなれば、勉強どころではありません。気を付けてあげましょう。

子どもとメディアとの関係は安心安全な環境づくりが大切です。それは、保護者の責務です。



【総 合】

4年間の調査で日南町の児童生徒の生活を7つの項目を中心にしてまとめました。秋田県では、日常生活がとても安定していることがおわかりでしょう。教育県と言われる「秋田県」や「福井県」でよく言われているのは、「当たり前なことを当たり前に行っていること」ということです。「朝食」「あいさつ」など「日常生活」がしっかりしていることです。

ぜひ、日南町の子どもたちも「当たり前なことが当たり前に行える子」を目指して、親として子どもに何ができるのか考えてみてください。

そして、別紙に取り組んでみたいことを書き込んで学校に提出していただければと思います。それらを学級懇談等で共有できればと考えます。子どものためにみんなで取り組んでいきましょう。